

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		看護学科		科 目 区 分		専門分野	授業の方法	講義演習	
科 目 名		母性看護学概論		必修/選択の別		必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)	
対 象 学 年		2学年		学期及び曜時限		前期	教室名	新館2階/3階	
担 当 教 員		澤本万紀子 泉愛子		実務経験と その関連資格		助産師、看護助産専門学校教員・教育主事、行政職、看護部長を経験 16年病院にて助産師として勤務経験あり、看護学学士・教育学修士・兵庫県専任教員 養成講習会終了			
《科目目標》									
1)リプロダクティブヘルスの概念を中心に、身体的・心理的・社会的・文化的側面から女性の健康課題と看護ニーズに着目し、母性看護の役割と機能、活動の場について理解することができる。 2)母性看護特有の倫理について考えることができ、「いのち」について自己の考えを深めることができる。									
《成績評価の方法と基準》									
課題提出 20%、感想レポート10%、筆記試験 70% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満									
《使用教材(教科書)及び参考図書》									
中込さと子・小林康江・荒木奈緒編:ナースング・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護、メディカ出版、2022 安酸史子・鈴木純恵・吉田澄江編:ナースング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論、メディカ出版、2022 【参考図書】小林康江・中込さと子・荒木奈緒編:ナースング・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践、メディカ出版、2022									
《授業外における学習方法》									
1)予習においては、テキストの該当ページ、関連書籍の該当ページを熟読するとともに、理解できない箇所を明確にする。 2)関連動画がある場合は視聴する。 また講義に関連する報道・記事などに関心を持ち発展的理解に努めること。 3)復習においては、テキスト・講義資料・参考文献などを用いて、学習した内容を整理し、理解を深める。									
《履修に当たっての留意点》									
1年次に学んだ解剖生理学(泌尿器系・内分泌系・生殖器系)を基盤とし、自身と異性の性について科学的に学習を進めること。									
授業の方法		内 容				使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	母性看護の基盤となる概念が理解できる			母性看護学36巻 p16－29			
		各コマにおける授業予定	母性看護の中心となる概念、母子に関連する理論、家族の発達について、母性看護の視点、母性看護の実践を支える概念を理解する						
第2回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	リプロダクティブヘルスに関する概念が理解できる①			母性看護学36巻 p32－45 成人看護学25巻 p200-208			
		各コマにおける授業予定	リプロダクティブヘルス/ライツについて・セクシュアリティ、性分化のメカニズムを理解する						
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	リプロダクティブヘルスに関する概念が理解できる②			母性看護学36巻 p32－45 成人看護学25巻 p200-208			
		各コマにおける授業予定	性の多様性、性の健康の概念を理解する						
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	リプロダクティブヘルスに関する倫理を理解できる			母性看護学36巻 p58-69			
		各コマにおける授業予定	看護における倫理原則について・看護者の倫理綱領を理解し、母性看護における行動指針を確認する ・看護を行うにあたっての倫理的概念、人工妊娠中絶・出生前診断・生殖補助医療について現況と倫理的・法的・社会的課題を理解する						
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	特殊なニーズをもつ妊産婦と家族への支援について理解できる。			母性看護学36巻 p80-81.96-97. 母性看護学37巻 p352-356			
		各コマにおける授業予定	・特定妊婦の妊娠・出産・育児における問題を理解する。 ・特定妊婦と生まれた子への支援について理解する。						

授業の方法		内 容		使用教材	
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	母親になること、親になることのイメージができ、いのちや家族について考えることができる①	DVD	
		各コマにおける授業予定	DVD鑑賞		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	母親になること、親になることのイメージができ、いのちや家族について考えることができる②	DVD	
		各コマにおける授業予定	DVD鑑賞		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	母性看護学において重要な統計についてわかり、日本社会の現状を理解できる		
		各コマにおける授業予定	・人口動態統計の母子保健統計に関する出生・死産・周産期死亡・新生児死亡・乳児死亡・妊産婦死亡について社会の変化と関連させ理解する ・家族形成に関する統計を社会の変化に関連させて理解する		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	リプロダクティブヘルスに関する法律や施策と支援を理解できる	母性看護学① p78-90	
		各コマにおける授業予定	母子保健に関連する法律、安心して子育てできるための諸制度を理解する		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	リプロダクティブヘルスに関する法律や施策と支援を理解できる	母性看護学① p91-103、199-203 成人看護学概論 p199～216	
		各コマにおける授業予定	DV被害や性暴力が女性の健康に及ぼす影響、医療におけるDVや性暴力被害女性のケアや支援、児童虐待のリスクアセスメントと支援を理解する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	リプロダクティブヘルスに関する法律や施策と支援を理解できる	母性看護学① p91-103、199-203 成人看護学概論 p199～216	
		各コマにおける授業予定	児童虐待防止の法律と支援、性暴力に関する法律と支援を理解する 周産期医療システムに関する施設や医療体制を理解する		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	思春期における健康問題と看護について理解できる	母性看護学① p106-144、199-212	
		各コマにおける授業予定	やせ、月経異常と性感染症について理解できる		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	成熟期における健康問題と看護について理解できる	母性看護学① p143-180、199-212	事前学習シートへの記入
		各コマにおける授業予定	女性生殖器の腫瘍について理解できる 不妊症について理解できる		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	更年期・老年期における健康問題と看護について理解できる。	母性看護学① p181-198、199-203 成人看護学概論 p215～226	聴講後のレポート作成・提出
		各コマにおける授業予定	更年期障害、更年期うつ、骨盤臓器脱について理解できる		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	終講試験		
		各コマにおける授業予定	まとめと終講試験		